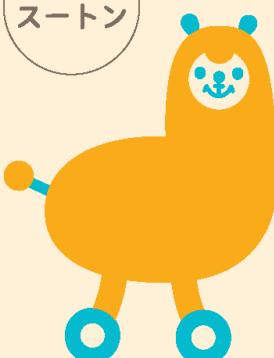


石巻 カーシェア 道中記 Vol.3

活動紹介パンフレット



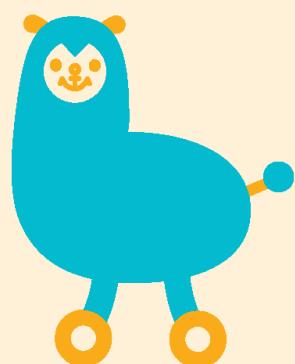
シェアルバカー1号
スートン



東日本大震災後に活動を始めてから今まで凸凹な山道を、一步ずつよろめきながらもなんとか前に進んできました。

私達がよろめき倒れそうになった時、いつも支えてくださる方々がいてくれたおかげです。日頃の感謝の気持ちを込めて、私達が積み重ねてきた今の取り組みと、少しずつ見えてきたその先の風景をご紹介します。

*「スートン(石)」と「ローリー(巻)」を合わせて「石巻」なんです。



シェアルバカー2号
ローリー



一般社団法人
日本カーシェアリング協会
Japan Car Sharing Association

東日本大震災で6万台の車が被災した石巻に寄付いただいた車を、1台届けることからこの活動は始まりました。



※2011年7月24日 仮設万石浦団地にてテスト運行を開始した時の様子

当時は、車を寄付するという習慣や、車を社会貢献のために活用するという文化がほとんどなく、しかも何の実績も経験もない私は、車を集めを始めてから最初の1台を届けるまでに3ヶ月かかりました。

あれから9年。

様々な方々に支えられ、石巻で培ってきたことで、他の地域にも貢献できるようになりました。

これまでご支援いただいた皆さんに感謝すると同時に、その受け取ったお気持ちを何倍にもして、具体的に社会へ還元できるよう、これからも取り組んでまいります。

2020年7月
一般社団法人日本カーシェアリング協会
代表理事 吉澤 武彦



2011年4月

故・山田和尚氏(元・神戸元氣村代表)から提案を受け車集め開始



2011年10月

公的機関から許可を受け本格始動



2012年2月

カーシェアリング・コミュニティ・サポートセンターを石巻市から受託



2014年3月

石巻以外の地域での災害支援活動を開始



2015年6月

復興住宅への導入を機に平時の支え合いサポートを開始

助け合いにあふれ、
安心して暮らし続けられる社会を目指す

「寄付車」を活用した新しい支え合いの仕組みをつくり、石巻から全国に広げる

**日本カーシェアリング協会は、寄付で集めた車を使った
「支え合いの仕組み」を作る非営利組織です。**

次の3つの活動
を通してその仕組み作りを進めています。



1 車をシェアして支え合う
仕組みを地域につくる
コミュニティ・カーシェアリング



2 寄付車を貸し出すことで
人と地域を元気にする
ソーシャル・カーサポート



3 災害時に車で困らない
仕組みをつくる
モビリティ・レジリエンス

8割が石巻出身のメンバーで 20代～70代の老若男女約15名で活動しています。

事務所は福島県で使われていた木造の仮設住宅を移築し、再活用しています。

● 取扱車両台数：約 200 台 ● スタッフ：15 名
※2020年7月末時点



Contents

この冊子では、前半で上記3つの活動をご紹介し、後半でこれらの活動を推進していく上で募集していること、受賞歴やメディア掲載履歴、支えてくださっている方々をご紹介しております。

- | | |
|---------|-----------------|
| P 4 - 9 | コミュニティ・カーシェアリング |
| P 10-13 | モビリティ・レジリエンス |
| P 14-15 | ソーシャル・カーサポート |
| P 16-17 | 募集 |
| P 18 | 受賞歴・メディア掲載 |
| P 19 | スペシャルサンクス |

車をシェアして支え合う仕組みを地域につくる

コミュニティ・カーシェアリング

「コミュニティカーシェアリング」は、地域コミュニティで車をシェア（共同利用）し、地域を元気にするサークル活動です。東日本大震災の後、石巻市の仮設住宅で始まったこの活動は、今、移動に課題のある様々な地域に導入されるようになります。全国に広がっています。



その1

目的は支え合う地域づくり

～楽しいサークル活動として車を柔軟に活用～

一般的なカーシェアリングと最も違う点は、その目的が地域づくりにある点です。目的に賛同し、入会したご近所さん同士で車を柔軟に活用します。お出かけの企画など楽しいこともどんどん実践していきます。



乗り合いで買い物



旅行



外出支援



マイカーのように

その2

地域の人たちで運営する

～ルールと役割はおちゃっこで決める～

定期的におしゃっこ※1を開催し、利用のためのルールを調整します。また、運営のために必要な役割を分担し、自分たちで運営していただきます。

※1 東北の方言で「お茶しながらのおしゃべり」という意味。
サロン活動のようなもの。

その3

経費実費を使った割合に応じて分担する仕組み

～積立金を定期的に精算しながら運営～

積立てのルールをつくり、集めたお金で運営し、利用頻度に応じた経費実費の分担となるように、定期的に精算しています。

全体の一割使用したから
費用を一割負担



ポイントは活動の組み合わせ

よく地域で行われている「サロン活動」、「ツアーアクティビティ」、「外出支援活動」。この3つの活動を組み合わせた仕組みが「コミュニティ・カーシェアリング」です。活動を組み合わせることによって様々な地域の人々が一同に交わり、楽しい企画が生まれ、活発で持続可能な体制が生まれます。



コミュニティ・カーシェアリングの得意なこと、苦手なこと

得意なこと

気軽に始められる

車も借りることができ、ルールの雰囲気もあるので、テスト運行から始めることができる。許可申請が不要なため関連機関との会議や手続きが不要。

苦手なこと

安定した交通サービスではない

地域のボランティアで運営しているサークルのため、協力者の都合を第一優先している。交通機関の補足としては役割を担えるが、安定したサービスの提供はできない。目的はあくまでも地域づくり。

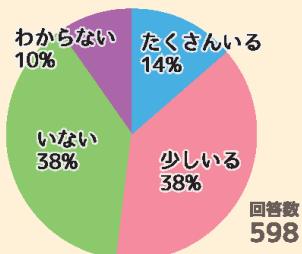
コミュニティ・カーシェアリングの効果

コミュニティ

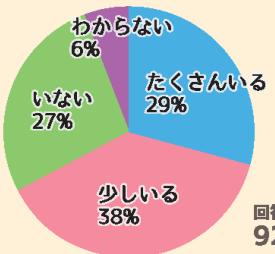
導入によって個人・地域共に人間関係構築に大きな影響を与えてる

Q. 仲のいいお知り合いはいますか？

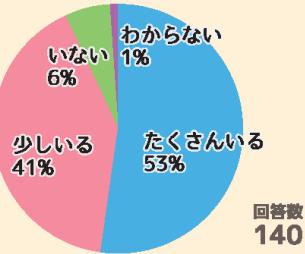
導入していない地域



導入している地域



会員

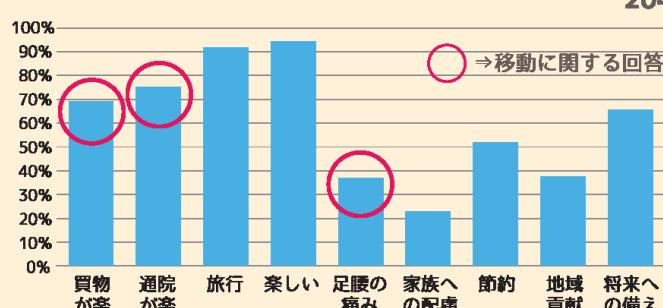


■石巻の復興公営住宅及びその周辺地域に行ったアンケート結果です。◆実施時期 2017年2月～2019年3月 ◆実施地域数 12地域

移動

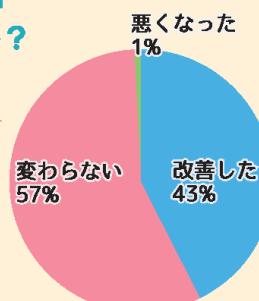
活動を楽しみながら移動も改善している

Q. 参加している理由は何ですか？（複数回答可） 回答数 204



Q. 移動は改善しましたか？

元々移動に困っていない方も楽しむために参加している



■石巻で運営されている10地域のカーシェア会の会員に行ったアンケート結果です。◆実施時期 2019年10月～12月

日本カーシェアリング協会の役割

日本カーシェアリング協会では『コミュニティ・カーシェアリング導入サポートプログラム』を提供し、下記のサポートを行っております。

導入サポート



地域への説明会や雑形のルールを使ったテスト運行を行い、会の設立までのサポートを行います。

運営サポート



ルールや役割分担の調整や運営に関する様々なサポートを通して活動を軌道に乗せます。

連携構築サポート



行政・企業・NPOなどと連携し、持続可能な体制づくりや、より効果的な活動にするためのサポートを行います。

『コミュニティ・カーシェアリング』を実践しているグループ紹介

石巻市内 10 地域 約 400 名

平均年齢 75 歳 ※2020 年 7 月末時点

1年間の活動量

(2019 年 4 月～2020 年 3 月)

お出かけ企画：49 回実施 (2,3 カ月に 1 回)

おちゃっこ会：86 回実施 (1 カ月に 1 回)

外出支援：3,845 回実施 (1 カ月に 32 回)

吉野町カーシェア会



新西前沼カーシェア会



中央カーシェア会



門脇カーシェア会



新立野カーシェア会



不動町カーシェア会



三ツ股カーシェア会



大門町カーシェア会



渡波カーシェア会



山下南カーシェア会



石巻以外の地域で設立された『コミュニティ・カーシェアリング』

※2020 年 7 月時点

助け英田しちゃろう会
(岡山県美作市)



小鳥の森カーシェア会
(岡山県岡山市)



林際カーシェア会
(宮城県南三陸町)



上北条ふれあい車会
(鳥取県倉吉市)



**石巻以外では 7 地域
約 250 名の方が実践中！**

永江ささえ愛カーシェア
クラブ (鳥取県米子市)



葛川いきいきサークル
(滋賀県大津市)



やらいや逢坂のってこや
(鳥取県大山町)



利用者の声



仕事が忙しくて地域のことを手伝ってこなかったので、仕事を引退した今、私にとっては地域に参加する良い機会になってます。

菅野さん
渡波カーシェア会 ボランティアドライバー



ちょっといいことしてえなあと思ってな。

青山さん
新西前沼カーシェア会 元ボランティアドライバー



みんなで行く買物は、ピクニックに行くみたいに楽しいです。

高橋さん
不動町カーシェア会 お出かけ担当



お出かけが本当に楽しみ。みんなともっとお話ししたいから補聴器をつけることにしました。

渡邊さん
三ツ股カーシェア会 みんなの人気者(最高齢 94 歳)



石巻の産官学民連携モデル ～地域連携し、持続可能な支え合いをつくる～



企業が支える 「CSSスポンサー制度」

活動経費の一部をスポンサー企業がサポートする制度です。企業側は地域へ直接的な支援を行うことができ、また地域とのかかわりを深めることもできます。



▲車には応援企業のステッカーを貼っています

産

官

行政が支える 「地域力強化推進事業」

石巻市では導入を希望する地域には協会スタッフを専門家として派遣し、導入後は経費の一部を一定期間助成しています。定期的に政策連携の検討会議も関係課が集まり行っています。



▲検討会議での様子

教育機関が支える 「学生整備プロジェクト」

学

毎年春と秋にタイヤやオイルなどの用品交換を授業の一環として実施していただいている。



石巻専修大学での
プロジェクトの様子▶

地域が支える 「地域センター制度」

会の運営に積極的な会員に対し、ちらしづくり、ファシリテーション研修などを行い、運営スキルを獲得していただきます。



パソコン講座の様子▶

よくある質問



Q. 事故のについては どう対応していまか？

- ・保険の範囲内での補償。
- ・運転者を責めない。
- ・賠償を求めない。

上記に関して会則でルール化し、同意者（家族同意も必要）のみ参加いただきます。

Q. 白タク行為では ないですか？

- ・ドライバーがボランティア。（無報酬）
- ・予め料金が設定されていない。（精算時に分担額が決まる）
- ・運送行為ではなく運転代行。

上記の 3 つのポイントで適法性を確保しています。

Q. 交通事業者と競合 しませんか？

- ・あくまでボランティア活動のため安定した交通サービスを提供できない。
- ・交通事業者の利用について配慮したルールづくりを行う。

上記のようにあくまで交通の補足的な立場で、外出頻度を増やし既存の交通サービスを利用する機運を作ることを目指す活動です。

データで読み解くコミュニティ・カーシェアリング

コミュニティ・カーシェアリングが、会員の心身の健康などにどのような影響を及ぼしているか、またそのコミュニティはどんな特徴があるのかを把握するため、会員に対するアンケート調査をトヨタ・モビリティ基金の助成を受け実施しました。客観的・科学的な調査とするため、調査設計・分析は、第三者機関において実施しました。

協 力：株式会社日本総合研究所、東北大学大学院歯学研究科、上智大学コミュニティ・キャピタル研究会、NPO法人CRファクトリー

実施時期：2019年10月～12月

対 象：石巻市で運営されている10地域のカーシェア会の会員（205名から回答を得た）

参加者に表れたプラスの効果

- 身体的な面（外出頻度向上）
- 心理的な面（心の安定）
- 社会的な面（話し相手の増加）

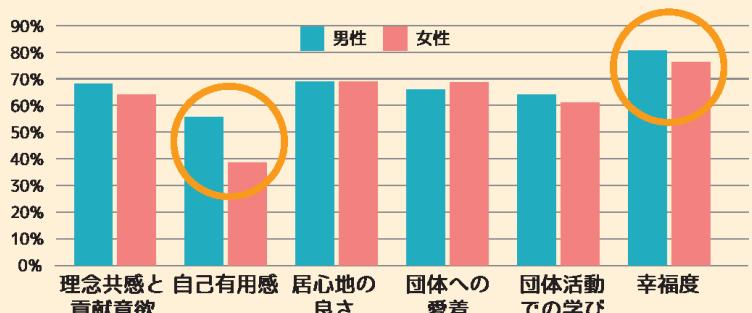
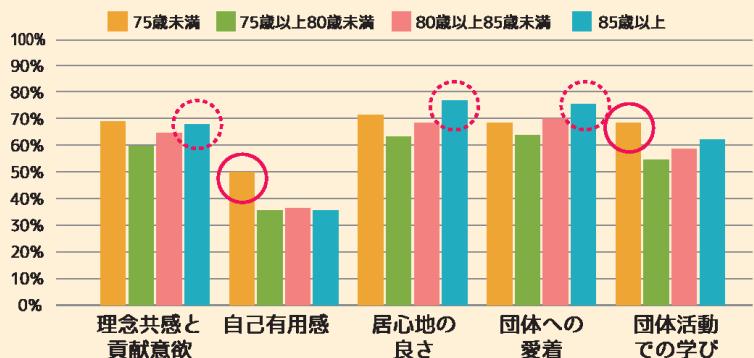
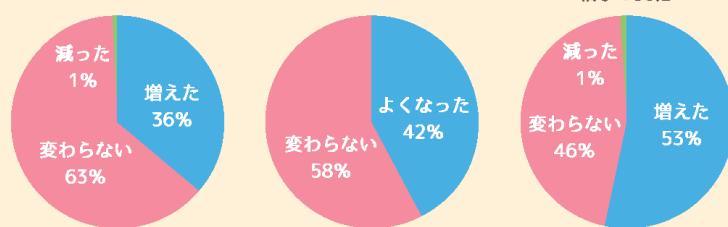
閉じこもり防止につながり、要介護・要支援、軽度認知機能低下、うつ傾向・うつ状態の方にもプラスの効果が確認されている。これらのことから、介護予防にもつながる意義を持つと考えられる。

- 75歳未満の比較的若い層では、自己有用感や学び（世話役として活動する意義）を強く感じている（○）
- 85歳以上の高齢層では、居心地の良さや団体への愛着（カーシェア会の居場所としての価値）を強く感じている（○）
- 社会参加の機会が少なく幸福度が高いとされる男性高齢者に、自己有用感、生きがい、幸福感を提供できているものと考えられる（○）

身体効果 外出頻度の変化

心理的効果 ふだんの気持ちの変化

社会的効果 挨拶や世間話をする相手の変化



Pick up

『コミュニティ・カーシェアリング』と免許返納

コミュニティ・カーシェアリングを実践する会員で免許を返納したり、マイカーを手放す人が一定数存在する。そういった方々へインタビューすると、この活動があることによる安心感が免許返納に寄与していることが確認できた。

当協会ブログ（右のQRコード）でインタビューを紹介しています。



▲ 80歳で免許を返納した岩井さん



市長 半島沿岸部など免許返納後の生活の足の確保は大きなテーマ。注目するのはカーシェアリングを活用した「コミュニティ」です。カーシェアリングの普及によって、地域の活性化が期待できます。

石巻市の亀山市長が「免許返納問題の解決に注目している」と、答えていた記事。

『コミュニティ・カーシェアリング』導入について

► 関心のある方は、裏表紙の連絡先にお問い合わせください

* コミュニティ・カーシェアリングについてまずは詳しく知りたい方へ

1 講演

当協会スタッフが現地に伺い、コミュニティ・カーシェアリングの取り組みについてご説明し、導入に向けてのアドバイスを実施。



2 観察

コミュニティ・カーシェアリングの現場観察を行った上で①と同内容の説明とアドバイスを実施。

* コミュニティ・カーシェアリングの立ち上げのサポートをご希望の方へ

3 CCS 立ち上げ サポート

石巻で活用している各種運営ツールを使い、活動の立ち上げに向けた事前調整・テスト運行など、現地への訪問及びオンラインでの伴走支援を実施。



導入に向けての打合せ

運輸支局への説明に同行

地域での説明会の実施

* コミュニティ・カーシェアリング導入後のサポートをご希望の方へ

(公認「コミュニティ・カーシェアリング」会員サポートプラン)

導入サポート後、継続して活動について情報共有いただける団体には、適切にコミュニティ・カーシェアリングの運営を実践している公認会員として登録いただき、会員同士の交流や継続したサポートを行っています。

4 会員サポート

各種運営ツールの提供・会員同士の交流機会の提供など。

5 オンラインサポート

月1回の電話もしくはオンラインでのサポート対応（1時間程度）を提供。

6 訪問サポート

月1回訪問でのサポートを提供。

国のアドバイザーチームを活用できます

代表理事の吉澤が「内閣府 地域活性化伝道師」「総務省 地域力創造アドバイザー」に登録していただいている。そのため、導入を希望する自治体が制度を利用すると経費を特別交付税措置として扱えたり、条件によっては、国が負担していただけることになります。詳しくは、QRコードから各ホームページをご覧ください。



コミュニティ・カーシェアリング事業の2025年までの目標

持続可能な『コミュニティ・カーシェアリング』のモデルが確立し、導入したい地域が気軽にチャレンジできる仕組みがある

災害時に車で困らない仕組みをつくる

モビリティ・レジリエンス

自然災害がある度に被災地は、車が被災して車不足で困る状況に陥ります。このモビリティ・レジリエンス事業は、寄付で集めた車を活用し、災害時に車で困らない仕組みを作る取り組みです。



災害時に被災地は車で困ります

被災個人・団体



私達は寄付で集めた車を、被災者及び支援団体へ一定期間、無料での貸出しを行っています。

STEP1 車を募る

多くの車が必要な場合、車の寄付の呼びかけを行います。SNSやメールニュースでの発信はもちろん、車関連の企業や業界団体、報道機関への働きかけ等も行います。



STEP2 車を運ぶ

石巻で活用している車や、寄付いただいた車を運搬ボランティアや積載車による陸送などの支援を募集して車を被災地に運びます。



STEP3 車を貸し出す

現地に貸出し拠点を設置し、集めた車を貸し出します。車は名義変更を行い、自動車保険に加入した上で貸出します。



これまで対応した災害 ※貸出し延べ件数

2014年 3月 平成26年豪雪(埼玉県秩父市)	1件
2015年 9月 関東・東北豪雨(宮城県古川市・茨城県常総市)	25件
2016年 4月 熊本地震(熊本県熊本市・益城町・西原村・南阿蘇村など)	71件
2016年 9月 台風10号(岩手県岩泉町)	23件
2017年 7月 九州北部豪雨	38件
2018年 7月 平成30年7月豪雨(岡山県倉敷市・愛媛県西予市など)	629件
2019年 8月 令和元年8月豪雨(佐賀県武雄市・大町町など)	105件
2019年 9月 台風15号(千葉県内)	5件
2019年 10月 台風19号(宮城県丸森町・栃木県栃木市・福島県いわき市など)	175件



2015年常総市にて



2019年丸森町にて

活動を支えるボランティア・プロボノのみなさん

架け橋ドライバー

全国から寄付の申し出を受けた車は、架け橋ドライバー（運搬ボランティア）が運転して現地に運びます。



整備・登録

地元の車屋さんや行政書士さんに車の整備や名義変更など、プロボノでご協力いただくことで大変助かっています。



活動を支える企業のみなさん

運搬で支援

車両の運搬でご協力いただいている企業です。

商船三井フェリー株式会社
株式会社ゼロ
太平洋フェリー株式会社



車で支援

車両提供のご協力いただきました。

JU 宮城
自販連岡山県支部他
自販連佐賀県支部



社員ボランティアで支援

社内外に車の寄付・運搬ボランティアを募っていただき車の提供＆運搬にご協力いただいている企業です。

エーモン工業株式会社



用品で支援

タイヤ・オイルなど車の用品をメーカー様に商品協賛いただいている企業です。
株式会社ハンコックタイヤジャパン・住友ゴム工業株式会社・日本ミシュランタイヤ株式会社・横浜ゴム株式会社様・ルート産業株式会社他



状況に応じた柔軟な支援

車両提供・車両運搬・メンテナンスなど、その時最も必要な支援を柔軟にご協力いただいている企業です。

株式会社オートバックスセブン



※五十音順



Pick up

OPEN JAPAN や支援ネットワークとの連携

全国にボランティアネットワークを持ち、災害支援コーディネートを得意とする一般社団法人 OPEN JAPAN(当協会代表理事の吉澤が代表を兼任)と常に連携しながら活動を行っています。他にも様々な団体との連携や、ジャパン・プラットフォームへの加盟を通して、効果的で持続可能な支援体制づくりを目指し活動を行っています。

OPEN JAPAN
オープージャパン

この部屋で対応



がんばろう！真備!!

平成30年7月豪雨では倉敷市の真備支所が被災したため、真備総合公園内にある真備体育館に支所機能が移りました。

真備体育館は罹災証明の発行や物資の提供、自衛隊のお風呂などで被災者がたくさん訪れる場所となりました。そんな中、私たちは体育館内的一部屋をお借りし、敷地内に駐車場も確保いただき、被災者への車の貸出しを行いました。

被災された方々の多く集まる場所に拠点を置かせていただいた結果、車が必要な方にこの支援の存在をスムーズに伝えることができました。



地域連携で支援規模拡大を実現

平成30年7月豪雨では、行政・自動車販売業界と連携することで、これまでの支援規模が約10倍に拡大しました。のちに防災協定を締結し、今後の災害時においても地域連携することを互いに約束しました。



協定締結の時の様子



▲ 岡山県の伊原木隆太知事からの動画メッセージをご覧いただけます。

＊ 平成30年7月豪雨における岡山県での連携事例 ＊

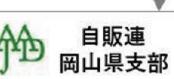


情報共有



協力要請

- 伊原木知事・行政職員の方々が被災地に車を届ける当協会（JCSA）の活動を知る
- 深刻な被害を受けた真備町で支援を届けるため各所へ協力要請



会員ディーラー（13社）

協力要請

- 会員ディーラーへの協力要請（FAX）
- 車両提供（43台）※総数98台
- 事務補助
- 登録、整備

本当に助かりました！





Pick up

電気自動車を活用した防災訓練の実施

当協会は三菱自動車工業株式会社から電気自動車の寄贈を受けた 2013 年より、石巻市と連携し災害時における非常用の電源として、電気自動車を活用する訓練を毎年実施しております。なお 2018 年に石巻市と災害時における協力協定を締結し、その中に電気自動車を活用した電源の確保に関する連携も盛り込まれています。

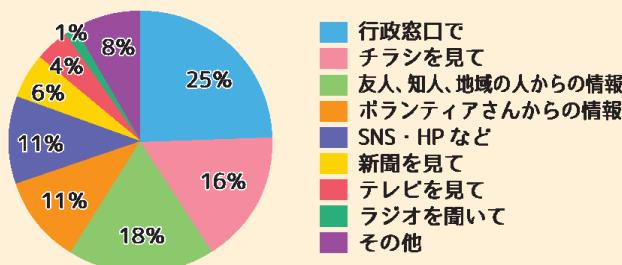


電気自動車を活用した防災訓練の様子

モビリティ・レジリエンス

* データでみる『モビリティ・レジリエンス』(令和元年台風 19号)

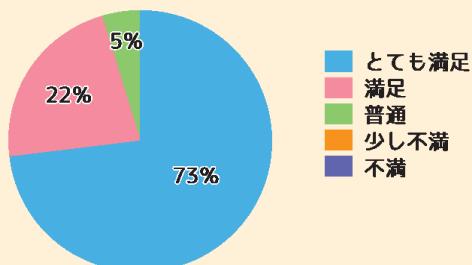
Q. どこでこの支援を知りましたか？



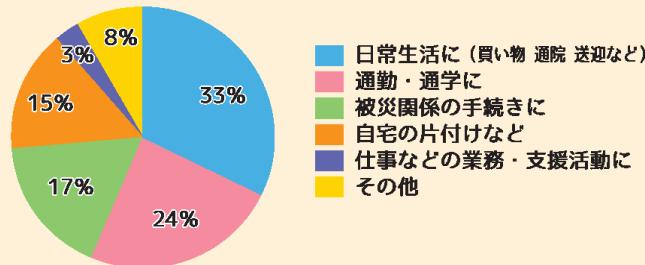
POINT

被災エリアへの情報周知は、主に役所
庁内や避難所へのちらしの掲示、自治
体の広報物へのちらしの挟み込み・被
災エリアへの配布などで周知される。

Q. 本支援の満足度について教えてください。



Q. どのような用途に主に使用しましたか？



* 利用者の方からのメッセージ

11月9日から車を借りました。自宅は床上浸水1.4Mで、車2台も全滅してしまい、途方にくれていました。11月の角田市広報でカーシェアリングさんの車を初めて知り、すぐ申し込みさせて頂きました。後日問い合わせなど、生活費や買い物や病院と車を提供して頂きました。本当に助かりました。家族一同御礼申し上げます。次の方に車を譲りたいに活用して頂きました。感謝感謝！！

私の所は事業所を利用している障害者の方々がおり、車でなくなり野菜の販売、金庫に車でなくなりましたが、その車がスマートキーに付いていました。その時、窓を開けていたときにカーシェアリングさんが車を借りる車であり大変助かりました。感謝申し上げます。

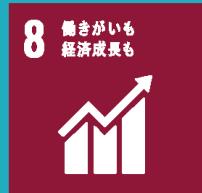
この度は、お車をお借り出来て、本当に感謝しております。引越しをする際にも、何度もお借り出来たので、無事に、引越しも、済める事が出来ました。今回の台風の被害を受け、途方に暮れていた戸建ての方をお借り出来る事を知り、本当に感謝感謝です。本当に、本当にありがとうございました。

モビリティ・レジリエンス事業の 2025 年までの目標

東日本大震災規模の災害が起こった時でも、様々な連携を通じて、特に支えを必要とする人に車を提供できる仕組みがある。

寄付車を貸し出すことで人と地域を元氣にする ソーシャル・カーサポート

車を貸すことによって、車がないことで困っている人や団体、地域を助けたり、元氣にするレンタカーとカーリースです。一部の取組は私たちの組織の大切な活動財源にもなっています。



ソーシャル・カーリース

～寄付車を活用して、地域の困っている人を助け、地域に貢献する人を応援～

生活再建を応援

車の維持・購入が困難な方、災害で車を失った方を対象とした格安リースを実施し、生活再建を応援します。更に困窮度の高い方に対しては、自立支援組織との連携を条件に、より低価格の「生活お助けカーリース」も実施しています。



地域を元氣にする人たちを応援

非営利活動を行う法人・個人、移住者、起業家を対象に、格安リースを実施し、その生活と活動を応援することで側面的に地域を元気にします。



非営利活動

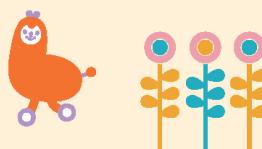
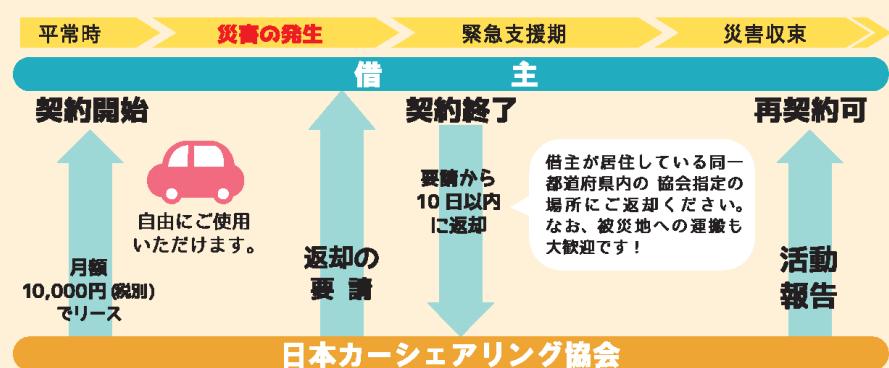
移住

起業

災害時に車を集めるための 「災害時返却カーリース」

災害が起これば 10 日以内に返却することが条件の低価格のカーリース。返却された車は被災地に運ばれ、被災された方や支援団体に無償で貸出されます。災害時に被災地で活用するための車を集めそのための取り組みです。

災害時返却カーリースの被災地支援イメージ



車を被災して日常生活に支障が出ている被災者や被災地支援を行う団体等に活用いただく支援車両になります

寄付車レンタカー

～寄付車を使った、お財布にも社会にもやさしいレンタカー～

私たちのレンタカーには5つの特徴があります。

特徴1. 震災伝承割引

石巻市や宮城県内をはじめとする沿岸部の地域には、東日本大震災での経験を伝えていく役割があります。私たちもこの地で活動する一員として、震災遺構や伝承施設へ足を運んでほしいと願い、震災伝承割引を行っています。そうした場所は公共交通機関では行きづらい場合が多く、それを補う役割を少しでも担いたいと思っています。

特徴2. 地元のお店を応援！

地域おこしキャッシュバック

震災の被害を大きく受けた沿岸部のお店を応援するために、そこで食事や買い物をされた代金を最大 2,000 円キャッシュバックしています。

特徴3. NPO・町内会割引

NPO や町内会等が使用する場合、割引しています。側面的に地域を元気にする活動を応援しています。

※法人格の有無を問わず、非営利を目的とした活動を応援しています。

特徴4. 地域のおすすめコースを音声での解説付きで案内する観光ナビ搭載

石巻の地元の人々がつくったおすすめの周遊コースを、地域の特徴や震災について音声で解説しながら案内するカーナビを使用することができます。石巻の歴史や魅力、震災のことを一人でも多くの方に伝えるために取り組んでいます。
(協力:アイシン・エィ・ダブリュ株式会社)

特徴5. 当協会の活動を側面支援

災害支援やコミュニティ支援等の私たちの非営利事業を財政的に支える取り組みもあります。

地域連携カーシェアリング

～地域の方々と車の貸出しを行う取組～

一般的なレンタカー会社では採算がとれず出店できないような地域で、地元の NPO や地域団体等と連携して、車を貸出せる仕組みをつくる取組みです。人口 400 人程の石巻市網地島では島内の NPO と連携し、レンタカー型カーシェアリングを行っています。この島を訪れる観光客や釣り人、福祉関係の方々が利用しています。

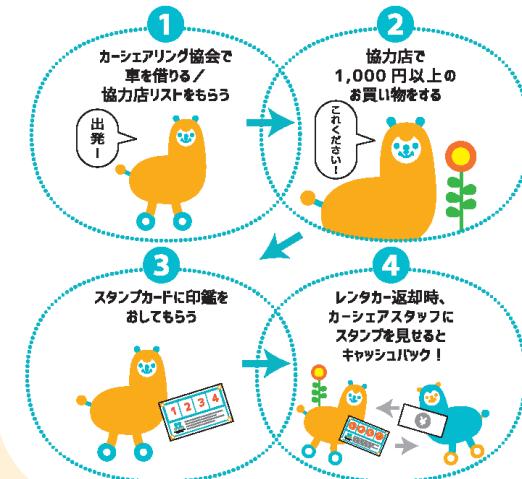


網地島に設置されている車



震災伝承のための語り部活動の様子

地域おこし キャッシュバックの流れ



予約はここから！▶

システム協力：株式会社ガーデュ



POINT

整備と保険のプロが常駐！

当協会には、ベテラン整備士と保険のプロが常駐しています。安心してご利用ください。東京海上日動の保険代理店も行っているので、損害保険については何でもご相談ください。



ソーシャル・カーサポート事業の 2025 年までの目標

支えを必要とする人や組織に寄付車を貸し出す仕組みが
全国各地に広がっている

募集

関わる人が無理なく継続して協力できる仕組みをつくりたいと思っています。できる範囲で、協力してもらえる方、募集させていただきます。



車の寄付募集（活用が難しい車も募集しています）

当協会の全ての事業を支える車の寄付を募集しております。私たちにとって車は、「笑顔の源」。めいっぱい活用させていただきます。また、全国の自動車リサイクル企業と提携して活用できない車のリサイクルを通して活動財源とさせていただく取り組みも行っています。家や会社に眠っている車があればぜひご協力ください。



車の寄付申し込みはこちらから



自動車リサイクル企業との協定締結の様子

活用できる車の場合

当協会の活動に活用させていただきます。

条件

1. 6ヶ月以上車検が残っている
2. 走行に支障のある故障がないこと
3. 快適に使用できる状態であること（特にエアコンやオイル漏れなど）



被災地や車が無くて困っている人のことで大活躍！

*車種や活動の状況によって、現場で活用することが難しい場合もあります。

*運搬いただく場合、現地までの高速代・燃料代は当協会で負担し、帰路にかかる費用は自己負担となります。

*運搬はボランティアさんをこちらで探すことが可能ですが。（時間を要する場合があります）



活用が難しい車の場合

（車検切れ・エンジン不調等）

リサイクルパーツと当協会への寄付金になります。



引取に関する費用はかかりません！ ほぼ全国どこでも引き取りに伺えます。

ご寄付いただいたお車は協力企業が引き取り、車は環境にやさしく再利用されます。買取の際に発生する料金は当協会へ寄付され活動費に充てられます。この仕組みは、車の提供者が同意した場合に限り適用されます。

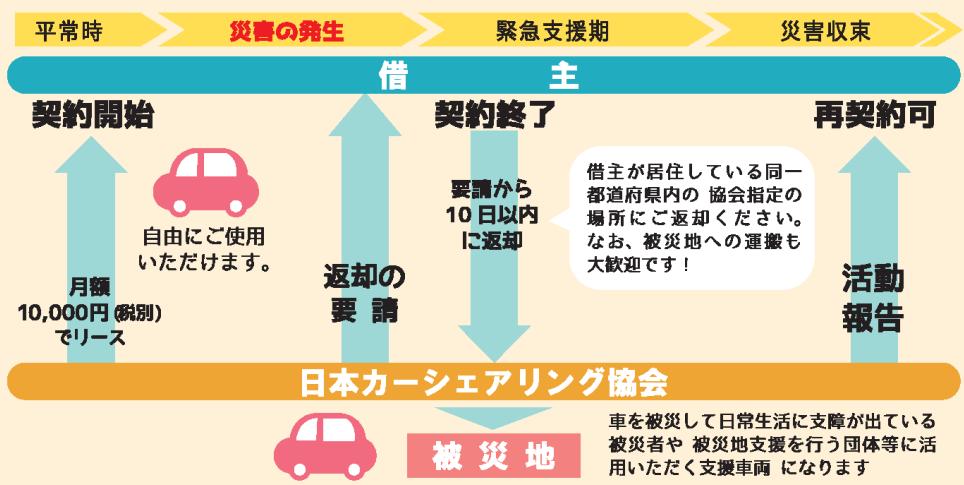
災害時返却カーリース利用者募集

（被災地に車を集める応援になります）

「発災後、すぐにまとまった車を被災地に届けたい！」のですが、車を全国各地に配備しておくには、駐車場の確保や車両の維持費やメンテナンス等のコストがかかります。そこで普段は格安で自由に使っていただき、災害が発災したら車を10日以内に返却していただける個人・法人を募集しています。組織や家族の予備の車としてぜひご利用ご検討ください。

月々1万円（自動車税・車検込、消費税別）・1年契約（災害時には契約終了）となります。

災害時返却カーリースの被災地支援イメージ



*ふるさと納税での寄付募集

(令和元年8月豪雨で被災した生産者やお店の商品をお礼の品としてお届けします。)

当協会は、2020年5月に佐賀県と協定を締結し九州支部を武雄市内に設立しました。さらに佐賀県の「ふるさと納税指定NPO」にも認定されました。

これによって佐賀県へ当協会指定であるさと納税をしていただいた場合、寄付額の90%が当協会の活動費として佐賀県から当協会へ寄付いただけることとなりました。

ふるさと納税とは、佐賀県が「ふるさと」でなくても、全国どこからでもできる自治体への寄付金のことです。「納税」という言葉を使っていますが、新たに納税をするという制度ではなく、2,000円を超える寄付を行った場合、確定申告等をすることで、一定の限度額まで所得税とお住まいの地方団体の住民税が軽減されます

佐賀県外にお住いの方が日本カーシェアリング協会指定で佐賀県庁へ1万円以上のふるさと納税された場合、お選びいただいた地場产品のお礼の品（令和元年8月豪雨で被災した生産者やお店の商品）を当協会から送らせていただきます。

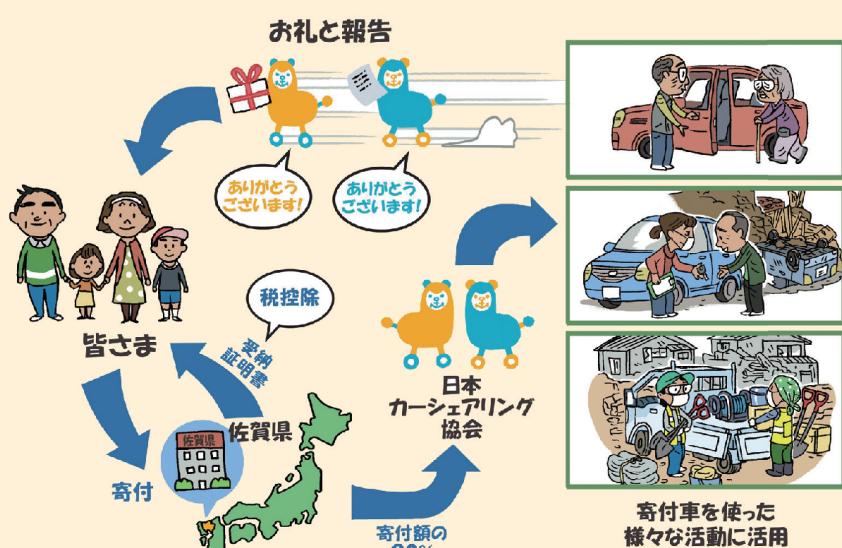
※寄付された金額以下の禮の品をお選びいただいても結構です。

※お礼の品不要（全額活動費への寄付とする）ことも可能です。

※寄付の回数に制限はございません。

※法人としてふるさと納税のご寄附をされた場合に全額損金算入が可能となります。但し、御礼の品をお受け取りされると、受贈益として計上されますので、ご注意ください。

※ふるさと納税は税控除の対象となります。家族構成、年収によって控除限度額が変わります。詳細は、税理士など専門家にお問い合わせください。



▲お申し込みはコチラから

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」からお申し込みいただけます。（FAX及び申込用紙でもお申込みいただけますので、ご希望の場合はご連絡ください）

プロボノ募集

（専門的な技能を社会貢献に活かしたい方）

写真・デザイン・映像・編集・マーケティング・システム・法律・登録・整備・労務・法務・漫画・コーチング等ご自身の専門分野をこの活動に活かして無料もしくは特別料金で協力いただける方を募集しています。



ボランティア募集

（自分の都合のつく範囲で協力したい方）

アンケート調査、車の運搬、発送業務等の事務所内での事務作業等、不定期でお手伝い頂ける方を募集しています。隨時お声かけさせていただいており、都合が合う時にできる範囲でお手伝いいただきます。



共同調査・授業募集

（学生の経験、意義のある研究のために）

授業や研究のテーマとして取り組んでいただける大学を募集しています。これまでに石巻専修大との整備・インターンシップ、東京学芸大とのデザイン、東北大・上智大との調査等で協働を行いました。



学生が自分達が作ったキャラクターを利用者に説明している様子

求人情報はこちらから



有給スタッフ募集

（この活動に従事したい方）

ホームページで求人情報を紹介しております。（募集をしていない時期もあります）ご関心のある方は気軽にお問い合わせください。

皆さまのおかげです 受賞歴・メディア掲載

私たちの存在理由は、活動を通して社会に影響を与え変化をもたらすことである、とも言えます。その一つの指標として受賞歴や報道機関への掲載等をご紹介させていただきます。特に受賞に関しては、日頃活動を支えていただいている皆様と共に得たものであり、そのことにあらためて御礼申し上げます。

受賞歴

- 2015年4月 国際交通安全学会賞 業績部門
- 2017年6月 地域ITS活動優秀事例
- 2018年2月 復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰
- 2019年2月 第9回地域再生大賞 優秀賞
- 2020年2月 第6回「エルトゥールル号の恩返し 日本復興の光大賞20」特別賞



行政との協定・アドバイザー実績

- 2016年4月 石巻市とUR都市再生機構と3者で「エコEVカーシェアリングの推進に関する協定書」締結
- 2018年8月 石巻市と「災害時の相互応援に関する協定」締結
- 2019年1月 岡山県・日本自動車販売協会連合会岡山支部・岡山県軽自動車協会ら4者で「災害時における被災者等の移動手段の確保に関する協定」締結
- 2019年7月 大津市と「コミュニティ・カーシェアリングの普及促進に関する連携協定」締結
- 2020年4月 代表理事の吉澤が「総務省 地域力創造アドバイザー」、「内閣府 地域活性化伝道師」に就任
- 2020年5月 佐賀県と佐賀未来創造基金と3者で「進出協定」締結



講演・視察 * 主な講演会登壇実績

- 2018年12月 とうほくNPOフォーラムin気仙沼2018（主催：NPOサポートリンク・フォーラムin気仙沼2018実行委員会）
- 2019年7月 第34回シンポジウム「これから30年の未来をえがく」（主催：研究・イノベーション学会）
- 2019年11月 SHARE SUMMIT 2019（主催：一般社団法人シェアリングエコノミー協会）
- 2020年2月 令和元年度「小さな拠点」づくり スロック別会議「小さな拠点」×地域交通（主催：まち・ひと・しごと創生本部）他

● 2019年1月～12月の実績値 講演会（講師）：16件 視察：9件

メディア掲載 * 主なメディア掲載実績

- 2011年7月24日 神戸新聞 仮設住民らに共有の車提供
- 2015年8月24日 読売新聞 顔「カーシェアリングで被災地を支援する」
- 2016年3月5日 朝日新聞 ひと「被災地発の住民運営型カーシェアリング普及を目指す」
- 2016年6月 ソトコト ソトボラ新聞
- 2019年7月 自動車技術2019 vol.73
- 2020年2月 運輸と経済 第80巻 第2号 他



復興庁の協力で活動を漫画化していただいた内容はこちら ▼



● 2019年1月～12月の実績値 新聞掲載：90件 ニュース・ラジオ：21件



◀ 高校の家庭科の教科書に紹介された内容はこちら



◀ 石巻の亀山市長が当協会との連携について3ページわたり寄稿していただいた原稿はこちら (P31～)

当協会の取組を4分でまとめた動画をホームページ上で公開しています。



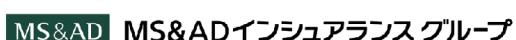
過去の会計報告はホームページ上で公開しております。



協 力

※順不同

皆さんとともにこの活動を推進していきます。



MS&ADインシュアランスグループ



株式会社 NTTデータ東北



株式会社 NTTデータスマートソーシング



石巻信用金庫

東北電子工業株式会社

株式会社山内自動車

一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 岡山県支部

岡山県軽自動車協会

自動車リサイクル寄付提携企業

※ 協定締結順

株式会社アイエス総合 / 株式会社ナフロアース / カーレボ株式会社 / スズキ中国販売株式会社
有限会社オートリサイクルナカシマ福岡 / 株式会社久保田オートパーツ / 株式会社ピー・エス・アイ・コーポレーション

Special Thanks

※ 五十音順

アイシン・エィ・ダブリュ株式会社 / 株式会社 IDOM / 株式会社イミカ / 特定非営利活動法人 ETIC / 岡山日産自動車株式会社
株式会社ガーデュ / 公益財団法人公益法人協会 / 佐賀県軽自動車協会 / 三共油化工業株式会社 / 庄司慈明税理士事務所
株式会社商船三井 / 商船三井フェリー株式会社 / 信金中央金庫 / 株式会社 SHIN-JIGEN / 真如苑
株式会社シン・ファンドレイジングパートナーズ / 住友ゴム工業株式会社 / 株式会社ゼロ / ソフトバンクつながる募金
太平洋フェリー株式会社 / 株式会社大和証券グループ / 武田薬品工業株式会社 / 社会福祉法人中央共同募金会
東京学芸大学 正木賢一研究室 / トヨタ・モビリティ基金 / Yahoo!JAPAN ネット基金 / 西村あさひ法律事務所
株式会社日産サティオ岡山 / 特定非営利活動法人日本 NPO センター / 公益財団法人日本財団
一般社団法人日本自動車販売協会連合会 佐賀県支部 / 株式会社日本総合研究所 / 日本たばこ産業株式会社
株式会社ハンコックタイヤジャパン / FUMIO OBATA / マツダ株式会社 / 公益財団法人三菱商事復興支援財団
宮城県 / 社会福祉法人宮城県共同募金会 / 宮城県中古自動車販売商工組合(JU 宮城) / 一般社団法人みやぎ連携復興センター^{UR} 都市機構 / 宮本 悠介 / 山食堂



他にもたくさんの方々にご協力いただいており、その一部をホームページにも掲載しております。





私たちのカーシェア・ピットクルー募集! サポーターになつただけませんか?

日本カーシェアリング協会は、さまざまな方の支援によって成り立っています。私たちは、この取り組みに賛同し、応援してくださるみなさまを、同じ道のりを共に歩む仲間であるという気持ちを込めて「カーシェア・ピットクルー」と呼んでいます。私たちが目指す未来に賛同いただける方、ぜひご無理のない範囲で、活動を応援していただけませんか?どうぞよろしくお願ひします。



私たちの役割 ➤

「寄付車」を活用した新しい支え合いの仕組みを作り、石巻から全国に広げる

2025年までの目標

- 持続可能な『コミュニティ・カーシェアリング』のモデルが確立し、導入したい地域が気軽にチャレンジできる仕組みがある
- 東日本大震災規模の災害が起きた時でも、様々な連携を通じて、特に支えを必要とする人に車を提供できる仕組みがある
- 支えを必要とする人や組織に寄付車を貸し出す仕組みが全国各地に広がっている

- ✿ 一口(個人3,000円・法人10,000円)からの寄付で活動を応援する(ふるさと納税でも可)
✿ 月々 1,000円からの定額寄付で継続的に活動を支える(「マンスリーサポーター」)

→ その他にも、さまざまな支援の仕方があります。詳しくはP16-17をご覧ください

寄付の振込先 (下記のホームページからクレジットカードで振り込みも可能です)

▶ ゆうちょ銀行から

口座記号: 02220-9 口座番号: 120559

▶ 他の金融機関から

ゆうちょ銀行 二二九(ニニキュウ)支店
当座 口座番号: 0120559

口座名義: 一般社団法人日本カーシェアリング協会

▶ クレジットカード寄付

マンスリーサポーター
申込等はQRコードから



ピットクルーの皆さんには、クルーステッカー(非売品)のプレゼント、年1回の活動報告書、
不定期でニュースレター「カーシェア通信」(マンスリーサポーターのみ)をお届けしております。



一般社団法人
日本カーシェアリング協会
Japan Car Sharing Association

石巻本部 〒986-0813
宮城県石巻市駅前北通り1丁目5-23
九州支部 〒843-0233
佐賀県武雄市東川登町大字永野6766-1

TEL: 0225-22-1453

FAX: 0225-24-8601

MAIL: info@japan-csa.org

ホームページ

HP: <https://japan-csa.org>



日本カーシェアリング協会は OPEN JAPAN ネットワークのメンバーです。